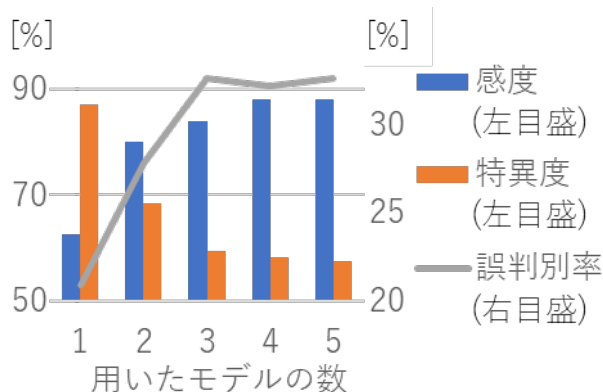
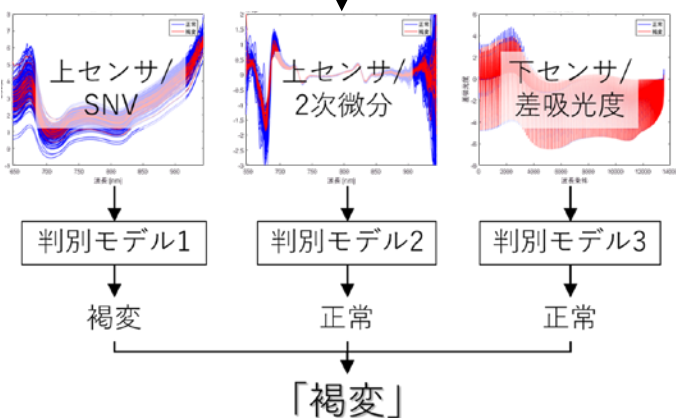
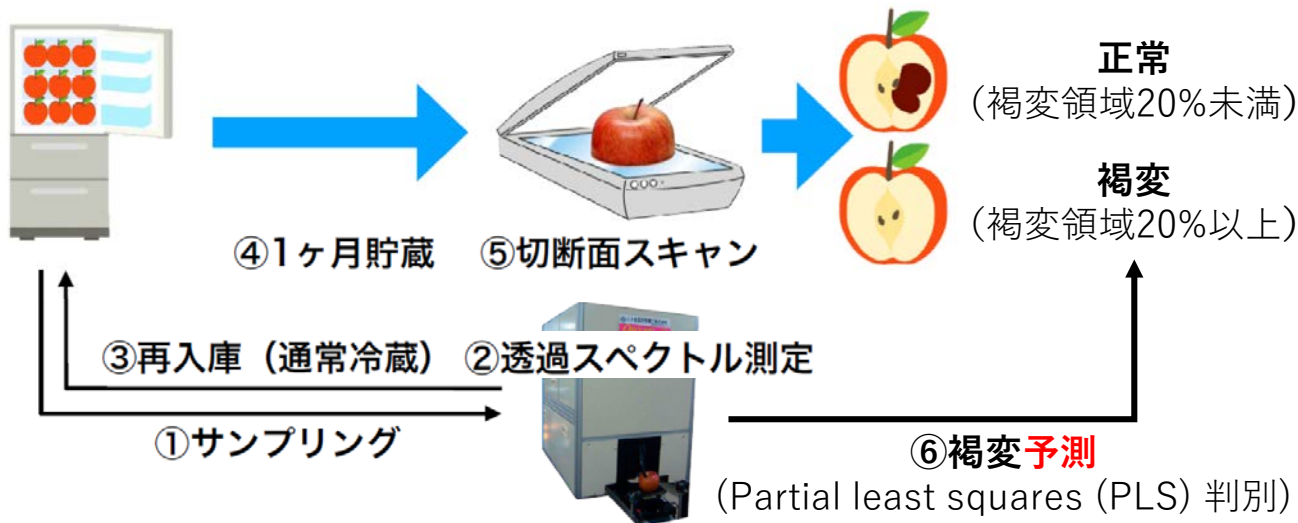


切らずに予測するリンゴの内部褐変

— 近赤外分光法と機械学習の活用 —

成果の特徴

- リンゴの内部に褐変が発生するかどうかを1ヶ月前に予測する技術です。
 - 果実内部を透過した近赤外領域の吸光スペクトルを活用→リンゴの切断不要
 - 既に現場導入されている近赤外糖度センサーを活用→現場実装が容易



成果の活用

本研究成果はリンゴ選果現場で実用化され、輸出を含む流通におけるリンゴ品質の向上に寄与することが期待されます。

参考文献

葛ら (2019) 日本食品工学会誌, 20 (1), 7-14.

謝辞

JA津軽みらい・シブヤ精機株式会社・農林水産省委託プロジェクト「国産農産物の潜在的品質の評価技術の開発」